

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	日本薬局方・製剤学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	前期	教室名	4校舎502
担 当 教 員	川原 一仁	実務経験と その関連資格	日野薬品株式会社にて試験研究室長として医薬品研究、分析業務に従事			
《授業科目における学習内容》						
日本薬局方は医薬品関連業界で働く者にとってバイブルのような公定書です。しかし、2500ページを超えるものであり、それを全て読みぬくことは大変困難なことです。そこで、通則・生薬総則・製剤総則について学んで貰い、企業で戸惑わないようにして貰うことを期待します。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点 × 0.7 + 出席点 20点 + 平常点 10点 で100点とする。 平常点は2回実施する小テストの結果とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
日本薬局方要説 第7版 廣川書店						
《授業外における学習方法》						
医薬品、医薬部外品、化粧品に関連する企業では日本薬局方が非常に大切なものとなっています。5年に一度大きな改訂がありますので皆さんに日本薬局方或いは解説書を購入して貰う必要はありませんが、インターネットで独立行政法人 医薬品医療機器総合機構や構成労働省のページが公開されているので見てください。						
《履修に当たっての留意点》						
自分自身の纏めノートを必ず作成してください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方とは何かについて知ることができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	日本薬局方の沿革について。薬機法と日本薬局方について。日本薬局方収載医薬品の薬機法における取扱いについて。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	各国の薬局方と日本薬局方について知ることができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	アメリカにはUSP、イギリスにはBP、ヨーロッパにはEP、中国には中国薬典のように各国・地域の薬局方がある。それらの違いなどについて知る。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方通則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	通則(1)～(10)までの解説			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方通則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	通則(11)～(30)までの解説			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方通則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。	
		各コマにおける授業予定	通則(31)～(44)までの解説			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方生薬総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	日本薬局方生薬総則についての解説 小テストの実施と解説		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	口腔内崩壊錠、チュアブル錠、発泡錠、分散錠、溶解錠、硬カプセル剤、軟カプセル剤についての解説		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	顆粒剤、発泡顆粒剤、散剤、エリキシル剤、懸濁剤、乳剤、リモナーゼ剤、シロップ剤、シロップ用剤、経ロゼリー剤についての解説		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	トローチ剤、舌下錠、バツカル錠、付着錠、ガム剤、口腔用スプレー剤、口腔用半固形剤、含嗽剤についての解説		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	注射剤、輸液剤、埋め込み注射剤、持続性注射剤、腹膜透析用剤、血液透析用剤について解説する		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	吸入粉末剤、吸入液剤、吸入エアゾール剤についての解説		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	点眼剤、眼軟膏剤、点耳剤、点鼻剤、点鼻粉末剤、点鼻液剤についての解説		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	坐剤、直腸用半固形剤、注腸剤、膣錠、膣用坐剤についての解説		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方製剤総則について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	外用固形剤、外用散剤、リニメント剤、ローション剤、外用エアゾール剤、ポンプスプレー剤、軟膏剤、クリーム剤、ゲル剤、テープ剤、パップ剤についての解説		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	日本薬局方生薬関連製剤について理解することができる	テキスト	テキストは事前に読み込んでおくこと。また、講義内容についてはノートに纏めなおしておくこと。
		各コマにおける授業予定	エキス剤、丸剤、酒精剤、浸剤・煎剤、茶剤、チンキ剤、芳香水剤、流エキス剤についての解説 小テストの実施、解説		